

2020年12月18日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## 芙蓉総合リース株式会社が発行する サステナビリティ・リンク・ボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎）は、このたび、芙蓉総合リース株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド<sup>(1)</sup>（以下SLB）の引受けにおいて共同主幹事を務め、本日、同SLBの条件が決定されましたことをお知らせします。

芙蓉リースグループは、「アフターコロナ」「ニューノーマル」と呼ばれる新たな社会の変化も想定される中、社会課題の解決を通じて企業の持続的な成長を同時に実現するというCSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の考え方に基づく事業戦略を推進しており、「重要な取り組み課題（マテリアリティ）」のひとつとして「気候変動問題と再生可能エネルギーへの対応」を掲げています。この取り組みを推進すべく、本SLBにおけるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットとして、「グループ事業消費電力の再生可能エネルギー化目標の前倒し」並びに「国内における脱炭素への取り組みを後押しするファイナンスプログラム」に関連する目標を設定しました。

本社債は、環境省の「令和2年度サステナビリティ・リンク・ローン等モデル創出事業に係るモデル事例等」として選定されており、モデル創出事業に係わるモデル事例としての選定は、「2019年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」に続き2年連続での選定となります。また、本社債は国内金融機関初のSLB発行となります。

なお、本モデル事例におけるSLB発行のフレームワークについて、環境省及び請負事業者（株式会社日本格付研究所とイー・アンド・イーソリューションズ株式会社）から、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」及び「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」との適合性確認を受けております。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本サステナビリティ・リンク・ボンドの概要)

名 称 : 芙蓉総合リース株式会社第27回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)  
(サステナビリティ・リンク・ボンド)

発行年限 : 7年

発行額 : 100億円

利 率 : 2020年12月24日の翌日から2024年12月24日までは、年0.380%  
2024年12月24日の翌日以降においては、以下の通り。

1. 2024年7月31日において、以下のサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (以下SPTs) をいずれも達成している場合においては、年0.380%
2. 2024年7月31日において、SPTsのいずれかまたはすべてが未達の場合においては、年0.480%

SPTs :

- ① 2024年7月までにグループ消費電力の再生可能エネルギー使用率50%以上
- ② 2024年7月までに「芙蓉 再エネ 100宣言・サポートプログラム<sup>(2)</sup>」および「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム<sup>(3)</sup>」の累計取扱額50億円以上

発行日 : 2020年12月24日

償還日 : 2027年12月24日

取得格付 : A (R&I) / A+ (JCR)

主幹事 : みずほ証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、  
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) サステナビリティ・リンク・ボンドとは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 (Sustainability-Linked Bond Principles)」に則した債券
- (2) 「RE100」および「再エネ 100 宣言 RE Action」参加企業・団体を対象とした優遇ファイナンスプログラム
- (3) 環境省が推進する「ゼロカーボンシティ」を表明した自治体エリア内に再生可能エネルギー設備、省エネルギー機器等を導入する企業、教育機関・医療機関等の団体、自治体等へ優遇ファイナンスを行うとともに、お客様と連名で寄付を行う寄付金型プログラム

以上